

# 会 議 録

全部記録 要点記録

<b>1 会議名</b>	第4回 姫路市地域公共交通会議陸運分科会
<b>2 開催日時</b>	平成29年6月21日（水曜日） 10時00分～10時30分
<b>3 開催場所</b>	姫路市栗山町126 イノウエビル2階D・E号室
<b>4 出席者名</b>	出席者 委員 岩田稔恵、奥西良行、河内泰敏、隈田絹夫、櫻井雅光、佐野直人、島田初美、 正司健一、宅見晋一、竹内 宏、中澤秀明、濱田崇広、古川 仁、山口正樹 以上14名（50音順 敬称略） オブザーバー 寺尾直樹 事務局（交通計画室） 岡田室長、植田主幹、福島課長補佐、福井技術主任、宮内技師、 小幡課長補佐、苅山主任
<b>5 傍聴の可否及び傍聴人数</b>	傍聴可、傍聴人1名
<b>6 議題</b>	「家島・坊勢コミュニティバス地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について」
<b>7 会議の全部内容又は進行記録</b>	詳細については別紙参照

<p>司 会</p>	<p>ただ今より、「第4回姫路市地域公共交通会議 陸運分科会」を開催致します。</p> <p>本分科会の開催には、「姫路市地域公共交通会議陸運分科会規約」第6条第2項の規定により、委員総数の半数以上の出席が必要とされております。</p> <p>本日は半数以上の出席をいただいておりますので、会議が成立していることをご報告します。</p> <p>また、会議は、本分科会規約第6条第4項の規定により、公開することとなっておりますので、ご了解頂きますようお願い致します。</p> <p>会議に先だちまして、今回、新たに委員となられた方々をご紹介いたします。</p> <p><b>【新委員紹介】</b></p> <p><b>【委嘱状交付】</b></p> <p><b>【配布資料確認】</b></p> <p>なお、会議の議長は、本分科会規約第6条第1項の規定により、会長であります姫路市都市局 隈田局長となります。</p> <p>それでは、本分科会規約第6条の規定により、以後の会議の進行につきまして、会長、よろしくお願い致します。</p>
<p>司 会</p> <p>事 務 局</p>	<p>会議次第「3 審議事項」の「家島・坊勢コミュニティバス地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について」事務局より説明をお願いします。</p> <p><b>【事務局説明】</b></p> <p>(議題1)</p> <p>「家島・坊勢コミュニティバス地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について」</p> <p>ただ今、事務局より説明のありました議題につきまして、なにかご意見・ご質問はございませんか。</p>

委員	<p>コミュニティバスについては高齢者の利用が多く、家島地域については皆、大変喜んで利用させていただいております。</p> <p>また、坊勢地域については、来年診療所が移転されると聞いており、それに対応できるよう検討をお願いしたいと考えております。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>坊勢地域については、診療所開設のタイミングで停留所の位置、運行ダイヤなどニーズに合わせて変更していく予定にしております。地域の方々にも、その際にはご協力をお願いしたいと考えております。</p> <p>また、停留所については所管の警察関係部署にも相談させていただきたいと考えております。</p>
委員	<p>資料の表1を見ると、地域内フィーダー系統の基準適合の欄があり、基準ロやニが掲載されていますが、参照先の説明資料もないようです。この情報は私達委員が得なくていいものではないでしょうか。</p>
事務局	<p>国からの補助金を受ける場合において地域公共交通確保維持改善事業補助金交付要綱に基づく交付要件があり、具体的には基準ロに該当する要件が離島振興法に基づく指定された離島振興対策実施地域であること、基準ニの要件については3個程度あるうち、今回家島地域で該当するのが前年度補助対象機関から生活交通確保維持改善計画に基づき運行されるというもので、コミュニティバスが該当するため、説明させていただいております。</p>
司会	<p>他に何かご意見はありませんか。</p> <p>無いようですので、議題1についてお諮りします。</p> <p>原案どおり承認してよろしいか。</p>
委員	<p>異議なし</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>議題1について、原案どおり承認いたします。</p>

事務局	<p>事務局には、本計画を以って、所定の手続き等を進めて頂きたいと思います。</p> <p>続きまして、会議次第「4 報告事項」の「家島・坊勢コミュニティバスの利用状況について」事務局より報告をお願いします。</p> <p>事務局報告</p> <p><b>【家島・坊勢コミュニティバスの利用状況について】</b></p> <p>何かご意見・ご質問はございませんか。</p>
司 会	<p>無いようですので、次に、会議次第「5 その他」でございます。</p> <p>本日は皆様にお集まり頂いておりますので、この際、何かご意見・ご質問等が有りましたら、どのようなことでも構いませんので、ご発言をお願い致します。</p>
委 員	<p>神姫バスのチラシを配布させていただいていますが、まず、姫路市内における深夜バスの運行サービスの取り組みについて、4月からは医療センター経由競馬場方面を運行開始しており、近隣のお店での PR、チラシの配布等もさせていただいています。</p> <p>次に、高速バスを姫路から出石まで片道運行しておりまして、こちら帰路については地域と連携している意味合いとして城崎方面への全但バスを利用いただくようになっております。また、鳥取への高速バスもございまして、ビジネス利用としてはまだまだ周知不足であるため PR にご協力いただきたいと思いますと考えております。</p>
委 員	<p>家島・坊勢の利用状況についてご説明いただきましたが、地区住民は乗車人員の減により計画変更もあるということを承知で運行されていますか。</p>
事務局	<p>利用状況によっては減便になることも含めて周知させていただいております。</p>
委 員	<p>地元住民も危機感を持っているという認識でよいですか。</p>

事務局	<p>8人乗りで乗車定員7名ですが、定員以上の方が来られれば次の便まで待つことになるのですか。また実際にそういう状況がありますか。</p> <p>乗車定員超える場合はお断りしておりますが、島内なのでお客さん同士が顔見知りであることが多くお互いで融通しているときもあります。</p>
会長	<p>地元で交通関係会議を開催するときに撤退条件は明確に示してありますので、危機感をもって地元で守るといふ雰囲気は醸成されているかと思います。</p>
委員	<p>最近では自動車の免許を取らない人も多く、コミュニティバスももちろんですが、ライフラインである公共交通に携わる第2種免許ドライバーについてなかなか人手不足です。なくなれば交通弱者の足、移動手段がなくなります。</p> <p>そのようにならないために公共交通を守り、我々も人材確保に向けての取り組みを行っておりますが、行政側にも公共交通会議等で取り上げていただいて認識してもらいたいと考えております。</p>
会長	<p>国の方からはバスの生産性向上についてという通達や協力依頼等をいただいています。そのなかで担い手の確保をしながら利用促進を図っていくということは難しいことですが、国や地方公共団体全体で取り組んでいきたい、また、会議の場で議題とさせていただきたいと思います。</p>
司会	<p>事務局については、山陽電鉄やJR等にも状況を確認しながら何ができるかを検討していただきたいと思います。</p> <p>(他にご意見等ございませんか?)</p> <p>(委員の皆様には、活発なご意見を賜り、ありがとうございました。)</p> <p>以上で、本日の会議を終了し、事務局に進行をお返しします。</p>
事務局	<p>委員の皆様におかれましては、熱心にご審議頂きまして、ありがとうございました。なお、本日の審議結果に基づきまして、必要な手続等を進めて参りたいと思います。</p> <p>それでは、以上をもちまして第4回 姫路市地域公共交通会議 陸運分科会を</p>

終了とさせていただきます。

本日は、委員の皆様のご協力を持ちまして、円滑に会議を進行することができました。誠に、ありがとうございました。